



第5次弟子屈町  
総合計画策定に向けた  
取り組みが  
始まっています

輝いていたい...

今よりももっと

広報てしかが8月号でもお知らせしたとおり、第5次弟子屈町総合計画策定に向けた取り組みが始まりました。総合計画は、今後10年間の弟子屈町の方向性や将来像を明らかにする計画であり、まちの計画としては最も上位に位置づけられるものです。10年間の計画期間で進められた第4次弟子屈町総合計画が計画満了となる平成23年度を間近に控えていることから、町では今年度と来年度の2カ年で新たな計画となる第5次弟子屈町総合計画をつくりまします。総合計画策定には、たくさんの方の参加が必要です。これから弟子屈町をどんなまちにしていっていかを話し合い、自分のまちの計画としてつくっていくため、町では町民の皆さんと一緒にさまざまな取り組みを行っています。

## 計画づくりの調査や審議を行う 策定審議会委員

**第1** 回目の弟子屈町総合計画策定審議会が9月24日、役場で行われました。

審議会は、町長の諮問(意見を求めること)を受け、総合計画づくりに関する調査や審議を行い、その結果を町長に対し答申(意見を述べる)することとする組織です。審議会の委員は、行政委員会の委員や各種団体の役員、職員、学識経験者、一般町民の方からの応募者など19人で構成されています。(下の(表1)参照)

この日は、委員への委嘱状交付と策定基本方針の説明が行われたほか、町長から総合計画策定基本構想



第1回目の総合計画策定審議会の様子

と基本計画の策定について諮問が行われました。また、事務局から策定スケジュールと手順などについて説明があり、委員からの承認を得ました。さらに、総合計画策定においては、より多くの町民の皆さんが前向きに夢を語り合い、共有すること、まちの魅力や可能性、活力について知恵を出し合うこと、総合計画はまちづくりのルールとしての役割を併せ持つことを確認し合いました。

次回は1月に  
行われる予定で  
すが、審議会は  
公開で行われる  
ため、ぜひ、たく

## 皆さんと一緒に まちの未来を考える 町職員も研修

町職員のうち、総合計画策定プロジェクトチームのメンバー

さんの皆さんに会場に来てほしいと思っております。日程については、決定次第、皆さんにお知らせします。また、審議会の結果は、町のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

を対象とした、ファシリテーター養成講座が9月29、30の両日、役場で行われました。

ファシリテーターとは会議(ワークショップ)の進行役であると同時に、会議の目的を達成するためにメンバーに働きかけをする支援者のこと。総合計画策定の過程においては、町民の皆さんがまちの将来像やまちづくりの方向性などについて意見を出し合う「まちづくり町民会議」(4ページで紹介)に積極的に参加し、皆さんの意見を汲み取り、会議がスムーズに進むようお手伝いを

(表1) 第5次弟子屈町総合計画策定審議会委員

(順不同・敬称略)

団体名	役職	氏名
ユースフルネットワークてしかが	会長	山内 功 丞
弟子屈町森林組合	代表理事組合長	山本 保 紀
てしかがえこまち推進協議会	環境・温泉部会長	榎 本 浩 士
弟子屈町教育委員会	委員長	小澤 重
弟子屈町文化協会	会長	勝 山 源 三
弟子屈町体育協会	事務局長	大 道 賞 二
弟子屈町社会福祉協議会	会長	金 子 正 男
弟子屈町消費者協会	会長	館 忠 良
弟子屈町商工会	会長	桐 木 茂 雄
摩周湖観光協会	会長	根 津 文 博
摩周湖農業協同組合	副組合長理事	川 口 覚
弟子屈町農業委員会	会長	塩 沢 稔 宏
弟子屈町PTA連合会	会長	高 橋 正 秀
弟子屈町自治会連合会	会長	村 上 政 市
弟子屈町女性団体連絡協議会	会長	江 口 佑 子
北海道大学公共政策大学院	教授	山 崎 幹 根
公募委員		今 井 善 昭
公募委員		上 村 剛 志
公募委員		木 名 瀬 佐 奈 枝





ファシリテーターの役割を学ぶ

いて学ぶなど、実践的な研修を行いました。

## 未来を担う 高校生の意見も 計画に反映したい

次代を担う高校生の意見を総合計画に反映させるための取り組みも行われました。



高校で町の現状について講演

第5次総合計画期間(平成24～33年度中に成人を迎え、社会の中心的役割を担うことになる

こととなる高校生を参考に、見を参考に、行われたもの。総合計画に高校生

しながら、一緒にまちの将来像を考えていきます。

講座では、第4次総合計画の課題を整理したほか、実際にワークショップを

映させようという取り組みは、今回が初めてです。まず初めに「町の現状と課題」についての講演を、10月6日に開催しました。役場企画財政課の担当職員が、弟子屈高校(鈴木晃校長)の全校生徒を前に人口動態、観光や農業などの基幹産業のほか「若者の町外流出が、町の活力の低下につながっている」などの課題について説明を行いました。

講演を踏まえて10月14、15の両日には、同校の1年生を対象に「高校生まちづくり会議」が行われました。生徒が町に対して感じていることや考えていることなどの意見を出し合い、これからのような町にした

初日には、男女別の8つのグループに分かれた生徒たちが、町の素晴らしいところや問題点を洗い出し、その中から3つの重点課題をまとめました。



グループごとにまとめた意見を発表

2日目には、重点課題を解決するためのアイデアを話し合い、まとめた結果をグループご

とに発表しました。

多かつた意見は、自然環境の保護や観光の振興などで「植樹や清掃活動の継続」「人が集まるようなイベントの開催」などの意見が出され、生徒が町の自然や観光産業を大切に感じている様子がうかがえました。

また、2・3年生にはアンケート調査を行っていて、こちらでもイベントの改善・工夫や観光客目線に立つことによる観光業の盛り上げ、さらには活気あふれるまちづくり、まちの安心・安全の確保などが挙げられました。

高校生まちづくり会議とアンケートによる生徒の提案は、総合計画に反映し、これからのまちづくりに活用していきます。

## 広く町の皆さんの 意見を聴くために 町民会議を開催

第1回目のまちづくり町民会議が10月21日、福祉センターで開催されました。

まちづくり町民会議は、総合計画の策定にあたり、広く町民の皆さんから意見や提言をいただくために設置された組織です。前述の総合計画策定審議会の下部組織として町長から委嘱され、審議会委員とともに総合計画の各部門ごとの素案の

策定を行います。

まちづくり町民会議の委員は、町内各地域の代表や各種団体・組織の役員・職員、一般町民の皆さん24人(5ページの(表2)参照)と、前述した総合計画策定審議会委員の皆さん、総合計画策定プロジェクトチームのメンバーとなっている町職員で構成されています。

この日は、委員への委嘱状交付と計画策定の概要説明が行われたほか、総合計画策定審議会の委員長でもある北海道大学公共政策大学院教授・山崎幹根氏の講演が行われました。講演は「これからの総合計画(弟子屈町のまちづくりに向けて)」と題して行われ、総合計画と総合計画づくりの重要性、目標設定作業、総合計画の活用などについて説き、委員の皆さんは真剣に聞き入っていました。その後「自然・環境」「人づくり・教育」「福祉・医療」「産業活性化」「基盤整備」「行政」の6つの部会に分かれて、協議を行いました。

まちづくり町民会議は総合計画策定審議会同様、公開で行われますので、ぜひ会場にいらしてください。次回は、11月17日(水)19時から公民館2階講堂で行われます。

会議の結果は、町のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

## 町の未来予想図に あなたの考えも 生かしてください

総合計画策定には、より多くの町民の皆さんの声を生かしていくことが大切です。次の日程で第5次総合計画策定のための第1回地域懇談会を開催します。10年後の弟子屈町の未来予想図を、あなたの手で描いてみませんか。皆さんの皆さんの参加をお待ちしています。

▼日時/場所/下の(表3)のとおり  
※会議時間は2時間程度を予定しています。  
▼参加対象者/町内を6地区に分けて、住んでいる地区ごとに開催します。18歳以上の町民の方であれば、どなたでも参加できます。  
※事前の申し込みは不要です。  
▼検討テーマと形式/「町全体の良」ところと改善したいところ」「まちの方向性」について、参加者が少人数のグループに分かれて考えます。

最初にお話ししたとおり、総合計画はこれから弟子屈町をどんなまちにしていくかを町民の皆さんで話し合い、自分のまちの計画としてつくっていくことが大切です。ぜひ皆さんには、総合計画策定審議会やまちづくり町民会議を見学したり、地域懇談会に参加したりしていただきたいと思えます。

10年後、みんなが幸せに暮らせるようなまちづくりに、あなたの思いを生かしていきましょう。あなたの思いが、未来を動かします。

(表2)まちづくり町民会議委員

(順不同・敬称略)

団体名	役職	氏名
自然公園財団川湯支部	所長	塩沢 紀雄
弟子屈町校長会	会長	小松 重敏
摩周丘幼稚園父母の会	会長	竹森 英彦
弟子屈町老人クラブ連合会	会長	田中 豊
ツーリズムてしかが	代表取締役	白石 悠浩
弟子屈建設業協会	会長	辻谷 智之
摩周建設事業協会	理事	佐藤 良己
弟子屈町ボランティア連絡協議会	会長	高砂 弥生
未来こども協議会	会長	目黒 厚子
前回まちづくり町民委員会	委員長	渡辺 隆幸
川湯地区代表	川湯駅前自治会長	松田 政幸
屈斜路地区代表	屈斜路自治会副会長	上西 透
美留和札友内原野地区代表	美留和自治会長	岡島 寛
奥春別最栄利別地区代表	最栄利別自治会長	浦田 進
仁多南弟子屈地区代表	南弟子屈自治会長	元山 義久
弟子屈市街地区代表	2町内自治会副会長	須田 潤
公募委員		近藤 卓司
公募委員		道券 直美
公募委員		伊藤 肇
公募委員		有岡 永機
公募委員		高梨 ひとみ
公募委員		貝塚 美雪
公募委員		冨田 恵

※上記24人に、総合計画策定審議会委員のうち委員長を除く18人、総合計画策定プロジェクトチームのメンバーとなっている町職員35人・消防組合職員1人を加えたメンバーが、まちづくり町民会議委員となります。

(表3)第1回地域懇談会日程

期日	時間	場所	対象地区
11月17日(水)	13時30分	町公民館2階講堂	仁多、下仁多、南弟子屈
11月18日(木)	13時30分	川湯消防支署2階	川湯市街地、川湯駅前、跡佐登
	19時	屈斜路研修センター	屈斜路
11月19日(金)	13時30分	美留和会館	美留和、札友内、原野摩周、原野
	13時30分	奥春別交流センター	奥春別、最栄利別
11月22日(月)	19時	町公民館2階講堂	弟子屈市街地、鎚別(他地区で出られなかった人も参加可)

問い合わせ先/役場企画財政課企画係 ☎ 482-2913 (課直通)



第1回目まちづくり町民会議の様子